

安心の設計

知りたい!
介護保険

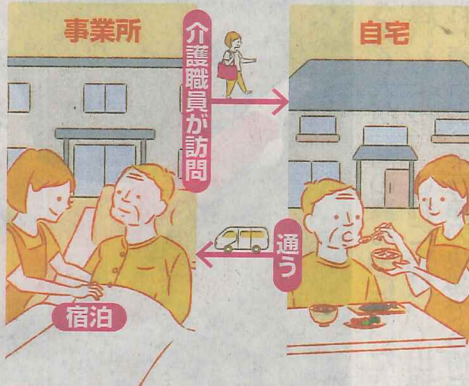
自宅で暮らし続けたい高齢者を支える介護サービスの一つに、「小規模多機能型居宅介護」があります。

デイサービス(通所介護)と訪問介護や、特別養護老人ホームなどの施設に一時的に宿泊する「ショートステイ」を、一つの事業所が一体的に提供するイメージです。高齢者の生活や心身の状態に応じて、三つのサービスを柔軟に組み合わせ使えます。

例えば、週に5回、事業所に通ってケアを受け、具合が悪ければ、帰宅せずそのまま宿泊。用事があったら通えなかった日は、訪問介護に切り替えて介護職員に昼食を届けてもらうなど、臨機応変に

小規模多機能型居宅介護

◆小規模多機能型居宅介護のイメージ



- ▶ 三つのサービスを柔軟に組み合わせて利用
- ▶ 同じ事業所の顔なじみの職員によるケア
- ▶ 料金は定額制

三つのサービス柔軟に構成

ますが、職員と一緒に行きつけの銭湯に出かける人もいます。

訪問が中心の利用者が、職員から事業所でイベントがあると聞き、「参加したい」と急ぎよ、来所することもあります。三つのサービスを同じ事業所の職員が提供するため、顔なじみの関係を作りやすいそうです。

小規模多機能型居宅介護の

事業所の登録定員は29人ですが、1日あたり通えるのは15人程度、宿泊は9人程度と少人数のため、落ち着いた環境で、きめ細かなケアを受けられます。

利用料金は、要介護度に応じた月額定額制で、どのサービスも何回利用しても、金額は変わりません。自己負担が1割の人の場合、要支援2の人は6972円、要支援4の人は2万4677円です。ただし、食費やレクリエーション代、宿泊の実費などは別途かかります。

医療的なケアを必要とする場合、三つのサービスに訪問看護を加えた「看護小規模多機能型居宅介護」も選択肢になります。退院直後で体調が安定しない人や看取りの時期が近い人などに、主治医の指示を受けた看護師が24時間、対応します。要介護1以上の人が利用できます。

こうした多機能型居宅介護の利用者は、ほかの事業所のデイサービスや訪問介護との併用はできません。例えば、通い慣れたデイサービスがあっても、そこは利用できなくなるので注意が必要です。まずは最寄りの高齢者向け相談窓口「地域包括支援センター」や、ケアマネジャーに相談してみましよう。(小沼聖実)

* 次回は13日の予定です。

利用できるのが特長です。朝にゴミ出し、昼と夜は服薬の見守りといった短時間の訪問サービスを複数回、利用することもできます。

全国の事業所で作る連絡会の黒岩尚文理事長は「利用者が、地域で暮らし続けるために必要なことをオーダーメイド

◆利用料金(月額)の目安

小規模多機能型居宅介護	
要支援1	3450円
要支援2	6972円
要介護1	1万458円
要介護2	1万5370円
要介護3	2万2359円
要介護4	2万4677円
要介護5	2万7209円
看護小規模多機能型居宅介護	
要介護1	1万2447円
要介護2	1万7415円
要介護3	2万4481円
要介護4	2万7766円
要介護5	3万1408円

※自己負担が1割の人の場合。地域などによって異なる



* 過去記事は
ヨミドクターで